

第6回 機能油脂懇話会 (第17回 CLA懇話会)



明治大学駿河台校舎



佐賀国際バルーンフェスタ

主催：機能油脂懇話会
会頭：永尾 晃 治（佐賀大学 教授）
代表世話人：菅 野 道 廣（九州大学・熊本県立大学名誉教授）
協賛：日清オイリオグループ株式会社
日時：平成27年11月14日（土）13時より
場所：明治大学駿河台キャンパス リバティータワー9階1096教室

第 6 回 機能油脂懇話会（第 17 回 CLA 懇話会）

《講演会》

日 時：平成 27 年 11 月 14 日（土）13 時～17 時 30 分

場 所：明治大学駿河台キャンパス リバティータワー 1096 教室

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1

《懇親会》

日 時：平成 27 年 11 月 14 日（土）18 時 00 分～20 時 00 分

場 所：明治大学駿河台キャンパス リバティータワー サロン燦（23F）

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1

《会 頭》

永尾 晃治 佐賀大学 農学部

〒840-8502 佐賀市本庄町 1 番地

第6回 機能油脂懇話会開催に当たって

代表世話人 菅野道廣

第6回の機能油脂懇話会を開催するに当たり、ご挨拶申し上げます。

今回は佐賀大学の永尾浩治先生に会頭をお願いし、「脂質と炎症」を主題として開催致します。会場につきましては、昨年に引き続き明治大学の長田恭一先生の格別のご配慮を頂いております。まずは準備の労をとられた永尾先生、長田先生、そして開催の諸準備に携われた日清オイリオグループ（株）研究所の皆様方に厚くお礼申し上げます。

本年度のシンポジウムで取り上げました「脂質と炎症」は、「脂質と健康」の問題を紐解くに当たり、殆んどすべての点で密接に関連している最も中心的话题であります。多くの研究者の中から最先端にある先生方を演者に選ぶことができましたので、必ずや最善の学習の場となるに違いありません。

本年、「機能表示食品」制度が制定され、機能性食品の分野はこれまでにない活気付いてきております。機能油脂懇話会に参加の皆様方の中でも、多くの方がこの制度に係わっておられものと思います。数多くの機能性成分を含む多様な食品が市場に出回って、その選択に迷うくらいですが、極言すれば、もう新しい成分は見つからないのではないとも言える状況ですので、昨年度も書きましたように、「栄養」との組み合わせを十分に活用して対応することが肝要と思われます。その一環として、bioavailabilityを高める手段を考慮する必要があります。例えば、脂溶性成分の吸収に油脂が不可欠であると言う最も基礎的な知見の活用があります。つまり、成功への道はわれわれの手元にあると言っても過言ではないでしょう。研究者としてもう一度原点に戻って計画を再構築されれば、必ずやよい結果が導かれるに違いありません。そして、例えば各種Bビタミン群による脳委縮防止効果がn-3系多価不飽和脂肪酸の摂取量が十分である場合にのみ認められるという最近の報告【Jerneren F *et al.*, *AJCN*(2015)】からも解るように、いくつかの成分間の相互作用もまた効果を期待するための手がかりとして理解しておかなければなりません。そのような意味からも、栄養学的基盤に立つサプリメント学の構築が求められます。

シンポジウムに加え、最新の価値ある研究成果が発表されますので、今回の懇話会での学習・経験は、皆様方の研究と開発のフィロソフィーをより一段と高めるのに必定役立つものと自負しています。大いに学習し、議論して下さい。

最後になりましたが、資金的面のみならず人的面でも多大なるご支援を頂いた日清オイリオグループ株式会社に再度深甚の謝意を表します。

○プログラム (13:00～17:30) (敬称略)

◇ 開会の辞 第6回 機能油脂懇話会 会頭 (13:00～13:10)
永尾 晃治 (佐賀大学 教授)

◇ ミニシンポジウム:脂質と炎症 (13:10～15:40)
座長 永尾 晃治

1) 中鎖脂肪酸による抗炎症作用 -肝臓ならびに消化管への投与効果
演者 河野 寛 (山梨大学 医学部 外科学講座第1教室) (13:10～14:00)

2) 脂肪酸受容体とエネルギー代謝
演者 木村 郁夫 (東京農工大学大学院 農学研究院 応用生命化学専攻) (14:00～14:50)

3) 生活習慣病の基盤病態:慢性炎症と異所性脂肪蓄積
演者 小川 佳宏 (東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 内分泌代謝学分野)
(14:50～15:40)

◇ コーヒーブレイク (15:40～15:55)

◇ 一般演題 (15:55～17:15)
座長 前半3題 柳田 晃良 (西九州大学 健康栄養学部長)
後半3題 池田 郁男 (東北大学 農学部教授)

1) 12週間ラード含有高脂肪食摂食が急性炎症下の肝組織中PPAR α とPPAR γ 発現を上昇させる
○甲斐 元規¹、三好 真琴¹、西山 雄也¹、梶田 歩¹、石川 (青山) 倫子¹、前重 伯壮¹、
井上 岳人¹、植村 弥希子¹、山下 勇人¹、古賀 由華¹、宇佐美 眞^{1, 2}
¹神戸大学大学院 保健学研究科 病態代謝学、²神戸大学 医学部附属病院 栄養管理部
(15:55～16:08)

2) ホスファチジルコリン摂取によるリンパ液中サイトカイン濃度変動およびその作用機構
○城内 文吾¹、河内 明日香¹、有馬 優子¹、佐藤 匡央¹
¹九州大学大学院 農学研究院
(16:08～16:21)

3) エゴマ油と α -リポ酸が肝臓の脂肪酸代謝と酸化ストレスマーカーに与える影響

○田中 藍¹・井手 隆^{1, 2}

¹十文字学園女子大学 人間生活学部、²十文字学園大学大学院 人間生活学研究科

(16:21～16:34)

4) 更年期脂質代謝変動に対する大豆イソフラボンと共役リノール酸の摂取効果

○谷澤 郁¹、小栗 幹也¹、長田 恭一¹、戸田 登志也²

¹明治大学 農学部 農芸化学科、²フジッコ研究所

(16:34～16:47)

5) 多様な水酸化脂肪酸生産に有効な乳酸菌由来水和酵素の機能解析

○岸野 重信¹、平田 晶子¹、竹内 道樹¹、小川 順¹

¹京都大学大学院 農学研究科 応用生命科学専攻

(16:47～17:00)

6) 中鎖脂肪酸の継続摂取によるアルツハイマー病の中核症状、行動・心理症状への影響

○野坂 直久¹・加藤 一彦²・末満 ひろみ²・吉田 歌子³・渡邊 慎二¹・青山 敏明¹

¹日清オイリオグループ (株)、²かとうクリニック、³ぐるーぷ麦

(17:00～17:13)

◇ 表彰式 (17:15～17:25)

菅野 道廣 (九州大学・熊本県立大学 名誉教授)

◇ 閉会の辞 (17:25～17:30)

菅野 道廣